

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課		
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立	
分野別方針	(11)適正な公有財産管理		実施計画事業	1)公有財産管理運営事業(No.85)	
予算等事業名	ふるさとの家維持管理事業				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。 ・行財政運営の効率化による経費の重点配分。 				
内容	生涯学習を推進する研修施設として、効果的に活用するための管理運営経費				
根拠法令・条例等	二宮町ふるさとの家条例				
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	平成25年度利用件数31件、利用者数667人				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	利用者数				
前期(27年度)目標値					【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	667人				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		706	640				
財源内訳	一般財源	650	559				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	56	81				

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 利用件数が少ないため、公費投入は最小限にすべきである。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 民間に委託する活用方法が望ましい。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	C
	【説明】 利用件数が少ない。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	C
	【説明】 維持管理経費がかかり、効率的ではない。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	D
	【説明】 老朽化が激しいこと、利用者数が少ないことから、廃止する方向が望ましい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	廃止の方向で検討する。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	ふるさとの家は老朽化が激しく、維持管理費の増大が予想される。		
今後の方向性	廃止の方向で進める。		